

## ニプロETキャス

再使用禁止

### 【禁忌・禁止】

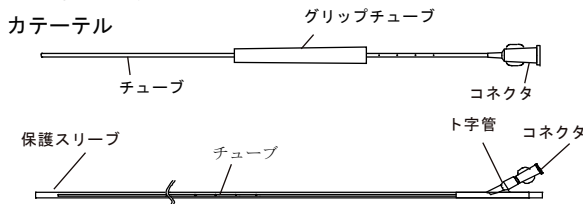
#### 1. 使用方法

##### 1) 再使用禁止

### \*【形状・構造及び原理等】

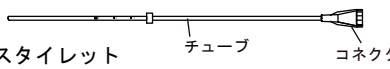
本品は、カテーテルと挿入補助具（シース、スタイレット等）から構成されている。各構成部品は単品で販売されることもある。

#### 1. 形状・構造(代表図)

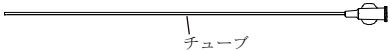


#### 2. その他の構成部品

##### 1) シース



##### 2) スタイレット



#### 3. 材質

カテーテル (チューブ)	ポリウレタン
カテーテル (コネクタ)	ポリカーボネート、アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体
シース (チューブ)	ポリウレタン
スタイレット (チューブ)	ポリウレタン

#### 4. 原理

本品は、滅菌済みのカテーテルセットで、経腔的に子宮腔内に挿入されたカテーテルの先端から体外で受精させた受精卵（胚）を子宮腔内に移植することができる。

### 【使用目的又は効果】

本品は、経子宮頸管的に子宮内又は卵管内等に、受精卵を注入する目的で使用する滅菌済みの胚移植用カテーテルであり、経産婦、未産婦を適用対象に使用するものである。

### 【使用方法等】

#### 1. カテーテル単体で使用方法

\*1) 開封後、コネクタに注射筒を接続し、カテーテル先端から受精卵（胚）を吸引します。なお、保護スリーブ及びト字管を併用する場合には、コネクタに注射筒を接続し、カテーテル本体を数cmスライドさせ、保護スリーブからカテーテルの先端を出して受精卵（胚）を吸引します。

グリップチューブが装着されているカテーテルでは、グリップチューブでカテーテルを保持しながらカテーテル先端から受精卵（胚）と培養液を吸い込んでください。

\*2) カテーテル先端を子宮頸管部の角度に合わせて挿入し、子宮底から数cmの位置に留置します。なお、保護スリーブ及びト字管を併用する場合には、カテーテルに装着されたト字管を保持して、保護スリーブ内からカテーテルだけを押し出すようにト字管をスライドさせて挿入します。

グリップチューブが装着されているカテーテルでは、グリップチューブを取り外した後に、カテーテルを子宮頸管に挿入してください。

3) 受精卵（胚）を移植します。

4) 本品を患者より抜去した後は感染防止に十分留意し、安全な方法で廃棄します。

#### 2. シースを併用する方法

1) 「1. カテーテル単体で使用方法」と同様の操作により、カテーテル先端から受精卵（胚）を吸引します。

2) シースを子宮頸管部の角度に合わせて内子宮口まで挿入します。

3) シースのコネクタよりカテーテルを挿入し、カテーテル先端を子宮底から数cmの位置に留置します。なお、保護スリーブ及びト字管を併用する場合には、保護スリーブの先端部をシースのコネクタより内挿し、カテーテルに装着されたト字管を保持して、保護スリーブ内からカテーテルだけを押し出すようにト字管をスライドさせて挿入します。

4) 受精卵（胚）を移植します。

5) 本品を患者より抜去した後は感染防止に十分留意し、安全な方法で廃棄します。

#### 3. シース、スタイレットを併用する方法

1) 「1. カテーテル単体で使用方法」と同様の操作により、カテーテル先端から受精卵（胚）を吸引します。

2) スタイレットをシースの内挿します。また、必要に応じ挿入部位の形状に合わせ、スタイレットの形を整えます。

3) スタイレットを内挿したシースを子宮頸管部の角度に合わせて内子宮口まで挿入します。

4) スタイレットをシースより抜き去ります。

5) シースのコネクタよりカテーテルを挿入し、カテーテル先端を子宮底から数cmの位置に留置します。なお、保護スリーブ及びト字管を併用する場合には、保護スリーブの先端部をシースのコネクタより内挿し、カテーテルに装着されたト字管を保持して、保護スリーブ内からカテーテルだけを押し出すようにト字管をスライドさせて挿入します。

6) 受精卵（胚）を移植します。

7) 本品を患者より抜去した後は感染防止に十分留意し、安全な方法で廃棄します。

### <使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 構成部品が単体で包装されている場合には、手技に必要な周辺関連機器をしっかりと接続してください。

\*2. グリップチューブが装着されているカテーテルでは、カテーテルを子宮頸管に挿入する前にグリップチューブを取り外すこと。

### 【使用上の注意】

#### 1. 重要な基本的注意

1) カテーテル及びシース、スタイレットの先端にバリや突起を認めた場合、使用しないこと。

2) カテーテルのコネクタには、ルーアータバに適合しない注射筒を接続しないこと。

3) 本品のシースはセットのカテーテル以外と共に使用しないこと。

**【保管方法及び有効期間等】**

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限を参照のこと。

有効期間：滅菌後3年 [自己認証（自社データ）による]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

\*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

ニプロ医工株式会社



ニプロ株式会社